

スタートアップ総合支援プログラム（SBIR支援）の概要

ステータス	フェーズ0 (発想段階)	フェーズ1 (構想段階)	フェーズ2 (実用化段階)	フェーズ3 (事業化段階)
研究開発テーマ	農林水産業・食品産業の課題解決に資する研究開発テーマを設定			
対象	スタートアップ等の中小企業者、事業化を目指す研究者等			スタートアップ等中小企業者 (VC等からの出資要件有)
期間	2年以内	1年以内	2年以内	1年以内
研究委託費	1,000万円/年以内	1,000万円/年以内	1,000万円/年以内	VC等からの出資額と同額以内 (上限3,000万円/年)
研究（取組み） 内容	事業化に有望な 技術シーズの創出	PoCやFSを通じた 課題の明確化と改善	PoCやFSを踏まえた 事業化に向けた改良	事業のスケールアップに 向けた技術改良
目標	技術シーズの創出	<ul style="list-style-type: none"> 事業化見込み 有望な事業モデル 	<ul style="list-style-type: none"> 法人化 事業計画 VC等からの出資調達 	事業の開始/拡大

経験豊富なプログラムマネージャー（PM）が課題に応じて事業化をサポート

伴走支援

メンタリング
セミナー
企業マッチング
資金調達マッチング
展示会出席

 メンタリングにおける
支援例（想定）

- 技術改良の助言
- 事業化を意識した技術的な助言
- 知財戦略の助言 等

- 技術改良の助言
- PoC、FS、市場調査、マーケティング調査の支援
- 事業モデル構築支援 等

- 技術改良の助言
- 経営人材マッチング
- 知財調査、資金調達の支援
- 事業計画策定支援 等

- 技術改良の助言
- 設備投資、市場開拓など事業開始準備の助言 等

プログラマナー (PM)

- PMは、株式会社クニエの原氏、豊橋技術科学大学の高山氏、Beyond Next Ventures株式会社の有馬氏の3名が務めます。
- 経済界、アカデミア、VCにおいてネットワークと事業経験を有する3者が、事業化をリードします。

PM

実績、経験

本事業の役割



原 誠 (PM代表)

株式会社クニエ



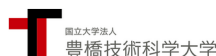
株式会社クニエのマネージングディレクター。経済界のコンサル実績や経済界・農業界とのネットワーク、農林水産業の基礎、先端技術の知見を有し、農林水産業界の特性と技術を理解した上で、事業化に関する助言、関係機関とのマッチングが可能である。

- ものづくりの事業化助言
- 農林水産現場とのマッチング (課題、ニーズヒア)
- 大企業等とのマッチング (研究開発・製品製造・販売パートナーの探索) 等



高山 弘太郎

豊橋技術科学大学



農林水産省委託プロイノベーション創出強化研究推進事業等、多くの研究統括経験を有するとともに、自身も大学発ベンチャーの立ち上げに携わり、ビジネス化の視点を含んだ技術的な助言が可能である。さらに、日本学術会議会員として国内外の多様な学術分野におけるアカデミアネットワークを有する。

- 事業化を念頭に置いた研究開発助言
- 研究開発における国内外のアカデミア連携 等



有馬 暁澄

Beyond Next Ventures

株式会社



Beyond Next Ventures株式会社マネージャー。国内外の農林水産業のスタートアップへの投資及びハンズオン支援、自治体とのアクセラレーションプログラムの運営実績を有し、事業化に必要な実践レベルの知見提供が可能である。

- ビジネスモデル構築、事業計画策定ノウハウ教示
- 事業化に必要なノウハウ (マーケティング、資金調達等) の提供 等